

～いわきネウボラの深化に向けて～
地域子ども・子育てワークショップの実施について（案）

1 目的

妊娠・出産・子育てに関する新しい支え合いの仕組みである「いわきネウボラ」を平成 29 年度より本格実施しているところである。

本年度においては、子育てに関する課題や悩みについて協議し合うイベントをモデル的に開催することにより、参加者同士が課題を共有し、地域ぐるみで支援することの必要性を認識するとともに、今後、本イベントの参加者を母体とした継続的な地域の話し合いの場の設立へ繋げていくなど、ネウボラの深化に向けた取り組みを推進するものである。

2 実施主体

いわき市（こどもみらい課、こども家庭課、担当地区保健福祉センター、
母子保健・子育てコンシェルジュ等）

3 モデル地区

内郷・好間・三和地区

4 実施日

平成 31 年 3 月中旬

5 参加者

- (1) 地区の子育て団体
- (2) 幼保関係者
- (3) 地区関係者（民生・児童委員等）
- (4) フリー参加者

6 当日の概要

(1) 【第一部】基調講演（15分）

内郷・好間・三和地区内で活躍されている方に、地域で行われている新しい取り組みの紹介をしていただく。

講師：どこでもロダン訪問サービス代表 橋詰 光子 氏

（内郷御厩町 1-206）

演題：「子育てママ世代のニーズについて（仮）」

【団体概要】：御厩町で美容室を経営しており、高齢者宅や介護施設、障害福祉施設などへ美容師を派遣し散髪を実施。その派生として、「ママの為の訪問理美容サービス」を立ち上げ、妊娠、育児等で暇がない母親のために自宅を訪問し散髪する新しいサービスや、ワンコイン（500 円）で様々な家事・育児手伝いを展開している。

(2) 【第二部】ワークショップ（85分）

地域課題と地域資源について、複数のグループにて議論する。ファシリテーターやアドバイザーの意見も参考としながら、「地域として何ができるか」を主に参加者全員で考える。

順番	項目	内容	
①	説明（5分）	やり方の説明	
②	リーダー決め（5分）	アイスブレイクも含む（自己紹介、じゃんけん）	
③	グループ討議① （25分）	Aコーナー （地域課題ワーク）	Bコーナー （地域資源ワーク）
		子育てに関する地域課題の洗い出し	地域関係者による地域資源の抽出
④	グループ討議② （25分）	子育てに関する地域課題の解決法の検討	地域資源マップ作成
⑤	発表（15分）	<ul style="list-style-type: none"> 各グループの代表者による発表 アドバイザーによる意見 	
⑥	総括（10分）	<ul style="list-style-type: none"> ファシリテーターによる全体的な総括 アドバイザーによる意見 	

● ファシリテーター

重症心身障がい児と家族の会 スマイルリボン 代表 （好間町下好間鬼越 79-3）	笠間 真紀 氏
--	---------

【団体概要】：重症心身障がい児向けの支援を行う団体を立ち上げ、デイケアサービス実施。

代表自身も、重症心身障がいの子を持つ。デイケアサービス利用児用の送迎車両購入費の一部として、100万円のクラウドファンディングを達成し、新聞等にも掲載される。

● アドバイザー

～調整中～

(4) 【第三部】フリーセッション（終了後）

総合保健福祉センター1階ロビーにて参加者相互の交流を深める。

⇒ 一層の交流を促進するため、各支援団体のPRブース、名刺掲示板などを設置する。

